

2018年度

認定看護管理者教育課程 セカンドレベル

募集案内



公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

青森県立保健大学

Community Education and International Affairs Center

地域連携・国際センター

認定看護管理者教育課程 セカンドレベルの概要

教育理念

本教育プログラムでは、ヘルスケアシステムの変革を担う看護管理の実践者を育成することを目指し、ヘルスケアシステムの変革と看護ケアの質向上に役立つ知識の獲得と実践力の向上のための機会を提供する。

成人学習の考え方を基盤に、学習者の自立性を尊重し、自主的な学習と自己決定を促進するとともに、学習者の創意工夫や自由な発想を引き出し、新たな発見や革新を促す場を提供する。また、学習者が自己のこれまでの経験を客観的・相対的に見直し、今後の看護管理実践にあたり、自信を持って前向きに取り組める機会となる学習プログラムを提供する。

教育目的

保健医療福祉を取り巻く環境の変化により、求められるヘルスケアニーズは多様化している。そのため、看護サービスの質の向上に果たす看護管理者の役割は重要であり、現在及び今後多様化する将来のヘルスケアニーズに対応したヘルスケアシステムを創造できる資質を持った管理者を育成することが不可欠である。そこで本教育プログラムは、次のことを目的に教育する。

1. グローバルな視点を持ちつつ、自己の果たすべき役割を認識し、現状に即した実践ができる管理者を育成する。すなわち、以下の能力の拡大を目指す。
 - (1) 保健医療福祉全般にわたる連携を図りながら実践できる。
 - (2) 青森県におけるヘルスケアサービスの実情を理解し、課題に取り組むことができる。
 - (3) 地域のネットワークを効果的に活用できる。
2. エビデンスに基づいた看護サービスの質の向上と改善を実践する第一線監督者となる看護管理者の育成を目指す。
 - (1) 第一線監督者又は中間管理者に求められる基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を修得する。
 - (2) 施設の理念ならびに看護部門の理念との整合性を図りながら担当部署の看護目標を設定し、その達成を目指して看護管理過程が展開できる能力を高める。

教育課程の目標

1. 医療経済の構造、現状について学び、変革が進む医療システムについて理解を深める。
2. 地域特性を踏まえた課題を明確にするとともに、改善のための方策を見出す。
3. 組織運営に関する諸理論に基づき担当部署の看護管理過程を評価し質向上のための方策を見出す。
4. 他職種、他部門、他施設、地域との協働・連携の方法について学ぶ。
5. 組織的看護サービスの質評価・改善の方策について学ぶ。
6. 組織の理念、経営目標を達成するための中心的要素である人材の確保・育成・活用等、人的資源管理に必要な知識・技術・態度について学ぶ。
7. 看護職者のキャリア開発について概念・理念・具体的方法について学ぶ。
8. 情報テクノロジーの保健医療福祉への導入・活用の現状を分析し、将来を展望できる。

受講要件

以下の3つの要件を満たしていること。

1. 日本国の看護師免許を有する者
2. 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者
3. 以下のいずれかの条件を満たす者
 - ア 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者
 - イ 看護部長相当の職位にある者
 - ウ 副看護部長相当の職位に1年以上就いている者

2018年度募集概要

募集人員	30名
教育期間	32日間（原則土日は含みません。ただし、講師等の都合により土日に開講する場合があります。）
受講費用	150,000 円（受講料・レポート審査料を含みます）
選考方法	出願書類により判定します。
提出書類	①受講申込書 ②セカンドレベル受講志望動機 ③その他受講要件により適宜(募集要項参照)
募集期間	2018年3月22日(木)～4月15日(日) ※最終日消印有効
募集要項 請求方法	①Web 上からのダウンロード ⇒ http://www.uhwa.ac.jp にアクセスしてください。 ②郵便による請求⇒返信用封筒(A4サイズ対応封筒)を同封し下記住所まで請求してください。 返信用封筒には 140円 分の切手を貼付し、郵便番号、住所、氏名を御記入ください。 〒030-8505 青森県青森市浜館間瀬58-1 青森県立保健大学 地域連携・国際センター セカンドレベル 担当 宛
募集要項 請求及び 応募書類 の提出先	※募集要項請求の場合、封筒表面に「 <u>セカンドレベル募集要項請求</u> 」と朱書きしてください。 ※応募書類提出の場合、封筒表面に「 <u>セカンドレベル</u> 」と朱書きしてください。
備考	※研修期間中は、講義時間以外に自己学習・グループワークなどが必要となります。 所属組織との業務調整を行い、研修に専念できる環境を整えて応募してください。

宿泊施設について

青森県立保健大学内のドミトリー(簡易宿泊施設)が利用できます。

宿泊室数:5室(1室1人定員)

宿泊室面積:約10畳(ベッド・寝具・机・イス) 費用:1泊 1,400円(*費用は、変更することがあります。)

施設内設備:談話室(テレビ・ソファー・テーブル)・洗濯乾燥室(全自動洗濯乾燥機)・

洗面所(冷蔵庫・電子レンジ・簡易電磁調理器)・トイレ・シャワー室あり

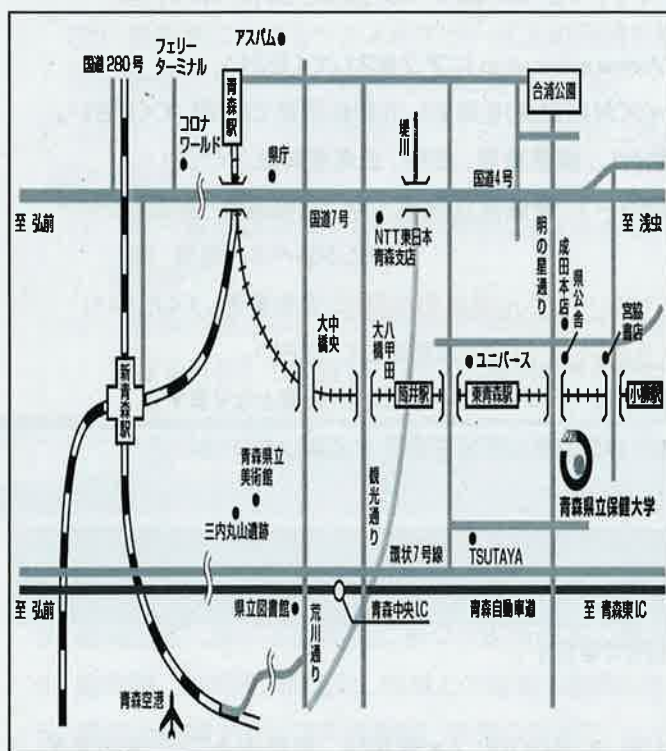
その他:食事の提供はありませんが、平日の昼食は、学生食堂を利用できます。ドミトリー内は禁煙です。申込みについては、受講審査結果通知とともに御案内いたします。

*希望者多数の場合は抽選となります。

教育課程（予定）

教科目	内 容	時間数
看護組織 管理論	組織マネジメントの基本理論 組織の意思決定と変革 組織文化 組織分析(組織診断) 看護ケア提供方式の構築 看護組織のナレッジマネジメント コンフリクトマネジメント 演習	45
人的資源 活用論	人材を育てる看護マネジメント 看護人事・労務管理 人材を活かす看護マネジメント 看護管理者に求められる資質と育成のための方策 演習	45
ヘルスケア サービス 管理論	保健・医療・福祉サービス提供組織の仕組みと連携 施設環境のマネジメント 安全管理 クオリティマネジメント ヘルスケアサービスへの情報活用とマネジメント 演習	45
医療経済論	我が国における社会保障と医療経済 看護サービスにおける経済性 演習	30
統合演習	統合演習	15
その他	コースオリエンテーション ヒューマンネットワーキング 情報収集・文献検索方法 図書館オリエンテーション レポートの書き方 プレゼンテーション	15

交通アクセス



青森市内の交通案内

■JR青森駅から約7キロ

- ・ 市営バス(戸山団地・沢山線(明の星高校経由))……約20分(県立保健大学前下車徒歩1分)
- ・ 車/タクシー……………約20分

■JR新青森駅から約8.4キロ

- ・ 車/タクシー……………約30分

■青い森鉄道東青森駅から約1キロ

- ・ 徒歩……………約10分

■青い森鉄道小柳駅から約1キロ

- ・ 徒歩……………約10分

■青森空港から約14キロ

- ・ 車/タクシー……………約35分

■青森自動車道「青森中央IC」から約5キロ

青森県立保健大学

〒030-8505 青森県青森市浜館間瀬58-1 青森県立保健大学 地域連携・国際センター

TEL:017-765-2316 FAX:017-765-2021 <http://www.uhw.ac.jp>

協力 青森県看護協会

セカンドレベル 青森

検索

